

報道関係各位

水戸芸術館現代美術センター

水戸芸術館では、「Everyday Art Market by Satoru Aoyama + ATMフェイス」プロジェクト展示を開催します。
つきましては、ぜひ貴媒体にてご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

Everyday Art Market by Satoru Aoyama + ATMフェイス プロジェクト展示のお知らせ

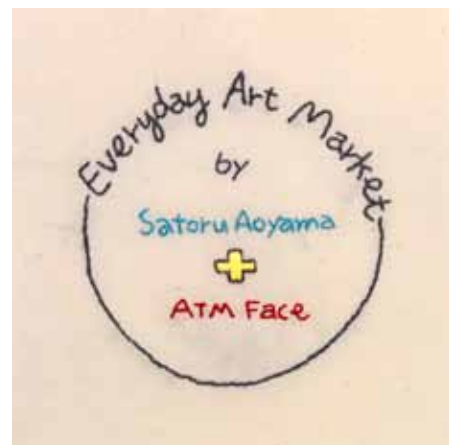
水戸芸術館現代美術センターでは、人と機械の関わりや労働をテーマとする刺繍作品をつくってきた現代美術家の青山悟と、自発的に手芸クラブ「ふえいす・らぼ」を行っている当館案内スタッフ(通称:ATMフェイス)による共同プロジェクト「Everyday Art Market by Satoru Aoyama + ATMフェイス」を2020年6月より実施してきました。本展は、その活動を紹介するものとして開催します。

2020年4月、青山は新型コロナウイルス感染拡大防止の自粛期間にアーティストとしてできる活動を探り、オンライン・プロジェクト「Everyday Art Market」を始動しました。その青山と臨時休館が続いていた当館のATMフェイスとが対話を重ね、手仕事によりその人の個性が見えるアイテムを制作してきました。

2020年度は、ATMフェイスの手による刺繍がほどこされたマスクとソーシャル・ディスタンスを測るためのメジャーを制作。プロジェクト2年目となった2021年には、着古した勤務時用の制服と蝶々模様のスカーフを再利用し、トランシーバーや消毒液を入れる肩掛けのポーチをメンバー全員でアイデアを出し合い協力しながら制作しました。それらは全てギャラリー勤務時に着用し、実用性だけではなく接客する来館者の皆さまも楽しんでいただいています。

そして勤務時に着用する作品以外にも、彼女たちの日々の思いを形に落とし込み制作したブローチを中心とした小品が、2020年の12月より館内ミュージアムショップ、水戸芸術館オンラインショップで販売され、これまでに約200点がお客さまの手に渡っています。

コロナ禍の2年半にわたる青山とATMフェイスとの活動をご覧ください。



【展覧会概要】

展覧会名：Everyday Art Market by Satoru Aoyama + ATM フェイス

会期：10月1日(土)～11月30日(水)

会場：エントランスホールおよび

ミュージアムショップ・コントロールポアン

開場時間：10:30～18:00 入場無料

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

【同時開催中】立花文穂展 印象 IT'S ONLY A PAPER MOON (～10月10日(月・祝)まで)

【お問合せ】

企画について 井関悠(学芸員)、小泉英理(学芸庶務)、森山純子(教育プログラムコーディネーター)

取材について 鳥居加織(広報) email: cacpr@arttowermito.or.jp

水戸芸術館現代美術センター 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL:029-227-8120 FAX:029-227-8130 <https://www.arttowermito.or.jp/>

【出品作家】

青山悟(1973年東京生まれ)

イギリスの大学でテキスタイル・アートを専攻し、そこでシンガー社製の古いミシンに出会って以来、機械と人間の関わりや、時代によって変化する労働の在り方など、ミシンに纏わる言語を考察しながら刺繍作品を制作しています。

青山は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いアーティストの活動も制限されていくなか、自身のオンライン・プロジェクト「Everyday Art Market」を立ち上げました。

「Everyday Art Market」は、“このような状況の中、例えそれが「非日常」的な毎日であったとしても、「日常」的に制作を続けること。これこそが今アーティストができる最も当たり前かつ重要な行為である。なぜなら創造を途絶えさせないことによってのみ、アートは時代を映す鏡たり得る”という考えのもと、スタートしました。

「Everyday Art Market」は、アーティストである青山が、ささやかなアイデアを日々、即興的に刺繍したシリーズをオンラインで展示し販売するプロジェクトです。激動の世界が落ち着きを取り戻すまでの期間限定。商品はすべて一点ものとなっています。



ふえいす・らぼ

2014年に当館で開催された「拡張するファッション」展をきっかけに生まれた当館案内スタッフ(通称:ATMフェイス)による手芸クラブです。「拡張するファッション」展では、参加作家の一人、オランダ出身のデザイナーであり教育者であるパスカル・ガテンが、ATMフェイスと共に、「制服のコンセプトについて考える」ワークショップを行いました。これは、自分たちが展覧会会期中に着用する理想の制服を自分自身で作し、その体験を未経験のATMフェイスへ伝えていく長期ワークショップです。会期中、日々少しずつ自分の制服に手を加えて拡張していく様をお互いに発見しながら、それぞれの個性が目に見える世界で一着の制服が生まれました。自分の思いを形にし、表に出す楽しさを発見したことは、手仕事を超えて彼女たちの生きる自信に結び付いていきました。



展覧会終了後は、自発的に“手芸クラブ”を立上げ活動を継続。やがて、活動は一步先へ広がり、外との関わりを持つようになります。公に活動する際には“ふえいす・らぼ”と称し、現代美術ギャラリーでの夏の子ども企画への参加、こども向け演劇公演のオリジナルグッズの作成、手仕事をするお店が一同に集まる「あおぞらクラフトいち」への出店や、高齢者施設での出張ワークショップなど幅広い活動に繋がっています。



青山悟
<http://satoru-aoyama.com/>



Everyday Art Market by Satoru Aoyama + ATM フェイス
https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5120.html



青山悟 Everyday Art Market
<https://everydayart.official.ec/>



水戸芸術館オンラインショップ Contrepoint
<https://arttowermito.ec.e-get.jp/>